

一般社団法人日本地震工学会

第1回 地盤情報データベースを用いた表層地質が地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会
議事要旨（案）

1. 日 時 平成23年6月22日（水）14時～17時

2. 場 所 C I C東京2F多目的室4

3. 議 題

(1) 今後の活動方針について

(2) 第4回ESG（Effects of Surface Geology on seismic motion；表層地質が地震動に及ぼす影響）国際シンポジウム情報

(3) 話題提供（4件）

- ・関東地方の地盤情報データベースについて（王寺委員）
- ・地盤情報データベース構築の試みについて（大井委員）
- ・火力地点の広帯域速度計による2011年東北地方太平洋沖地震の記録（植竹委員）
- ・東北地方太平洋沖地震の余震観測と微動観測（津野オブザーバー，山中委員長）

4. 配布資料

ESG 1-1 委員会概要・委員名簿

ESG 1-2 ESG4 Conference @ UCSB

ESG 1-3 関東地域における地盤情報データベース

ESG 1-4 火力地点の広帯域速度計による2011年東北地方太平洋沖地震の記録

ESG 1-5 東北地方太平洋沖地震（M9.0）の余震観測と微動観測

防災科学技術研究所研究資料 第361号 統合化地下構造データベースの構築

5. 出席者

*委員長 山中浩明（東工大）

*委員 岩田知孝（京大防災研），植竹富一（東京電力），王寺秀介（中央開発），
大井昌弘（防災科研），片岡正次郎（国総研），川瀬博（京大防災研），工藤一嘉（日大），
早川崇（清水建設），東貞成（電中研），久田嘉章（工学院大），横井俊明（建築研），
吉嶺充俊（首都大学）

6. 議事概要

(1) 今後の活動方針について

・山中委員長より今後の活動方針案が紹介された。

①地震工学会大会でのオーガナイズドセッション提案（東幹事担当）

②第4回ESG国際シンポジウムへの対応

③活動終了時にはシンポジウム開催および学会誌特集号の企画を行う。

④活動は2～3ヶ月に1回，会合を開催して情報交換するほか，適宜メールで情報交換をしたい。

・以下の質疑応答，意見があった。

①委員会の会期延長は可能か？→難しい。新規に立ち上げる必要がある。

②「表層」の定義は？→「表層地質」として極表層から堆積層まで広い定義である。

③日本地震工学会理事会で 3.11 地震対応について本委員会に要請はあったか？

→特段ない。学会の動きとしては 3.11 地震対応として特別調査委員会が組織されて提言の発信に向けて活動するほか、3 月に国際シンポジウムを主催、5 学会共催で開催する計画である。

④オーガナイズドセッションでは、地盤データベースを用いた地盤増幅と地震動特性の関係についての検証等の紹介をすべきである。

(2) 第 4 回 ESG 国際シンポジウム情報

- ・ 8 月 23 日～26 日にカリフォルニア大サンタバーバラ校で開催される。
- ・ ESG4 Scientific Advisory Committee に川瀬先生、井合先生が就任している。
- ・ IASPEI/IAEE の ESG 国際合同 WG 委員である川瀬委員より状況説明があった。
 - 第 1 回、第 2 回は本委員会の前身である震災予防協会 ESG 研究委員会主催で 1992 年小田原、1998 年横浜で実施、第 3 回は 2006 年 Grenoble (仏) で P-Y. Bard が主体となって実施。
 - 今回は 250 名程度参加予定。キーノートレクチャーのみオーラルで他はポスター。
 - これまで実施されてきた地震動のブラインドプレディクションはなし。AVS30 に関するディベートセッションが開催される。
 - 6/23 夕方に IASPEI/IAEE JWG-ESG のビジネスミーティングが開催され、次回 (4～6 年後と思われる) の議論になる。

(3) 話題提供

- ・ 王寺委員より関東地盤データベースの出版に係る話題提供があった。
 - 建築確認申請に係る情報は法律的なものもあり現状では非公開となっているが、今後はデータの有用性を示して公開できる方向にすることが望ましいというコメントがあった。
- ・ 大井委員より分散管理型地盤情報システム Geo-Station を中心とした紹介があった。
 - 千葉県防災危機管理課では液状化、津波、情報伝達に関する検討委員会が組織されている。また、地震調査研究推進本部地下構造モデル検討分科会では自治体関係者との意見交換会が計画されている。これらの活動に本委員会が何らかの形でサポートできることが望ましいというコメントがあった。
- ・ 植竹委員より東京湾の火力発電所地点で得られた 3.11 地震(M9.0)および最大余震の茨城県沖(M7.7)記録の紹介があった。
- ・ 山中委員長の要請で津野オブザーバーより 3.11 地震の余震観測と微動観測に関する報告がなされた。
 - 茨城県での観測結果と被害との対応について質問があり、調査地域では特段の被害はみられていないとの回答があった。

(4) その他

- ・ 次回は 9 月 16 日 (金) 14:00～ (場所未定だが田町) を予定。

以 上